

ある人の言葉を紹介します。

「負けそうになった時、くじけそうになった時は、ぜひ、へこたれない心を思い出して、努力にはげんでください。」

この言葉は、元プロ野球選手で読売巨人軍の監督を長年努めたミスタージャイアンツこと長嶋茂雄さんの言葉です。

3年前、長嶋茂雄さんが福岡県の中学2年生に送った手紙の一部です。経緯は、道德の授業で脳梗塞のリハビリに励む長嶋さんについて学んだ生徒たちが励ましのメッセージを長嶋さんへ寄せたところ、返信の手紙とともに色紙が贈られたということです。

私は、長嶋茂雄さんがプロ野球選手として活躍している姿は知りません。しかし、巨人軍が大好きだった宮林少年は、何度か後樂園球場へ父に連れて行ってもらい、長嶋茂雄監督率いる巨人軍の応援をしたことが思い出されます。

そんな長嶋茂雄さんは、6月3日に肺炎のため東京都内の病院でお亡くなりになりました。89歳だったそうです。

長嶋茂雄さんが残した「へこたれない心」とはどんな心なのでしょう。それは、難しいことや思うようにならないときも、諦めずに立ち向かう心です。

今日から水泳の学習も始まります。また、木曜日は体力テストもあります。ぜひ皆さんには、「へこたれない心」で挑戦してほしいと願っています。